

仙 北 市

市議会

だより

新年のあいさつ P 2
 仙北市議会12月定例会 P 3
 予算常任委員会 P 4
 一般質問 P 5~12

総務文教常任委員会 P 13
 市民福祉常任委員会 P 14
 産業建設常任委員会 P 15
 いきいき広場・控室・編集後記 P 16

■角館・角館西保育園の元気な子どもたち
 1月6日出初式もちまきの様子



No.45

2017年2月16日発行
 発行 仙北市議会
 編集 仙北市議会・
 広報編集
 特別委員会



新年のごあいさつ

仙北市議会 議長

青柳宗五郎

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、統合庁舎の議論に明け暮れた一年でした。結果として、統合庁舎の建設は、実現できませんでした。統合庁舎の議論を通して、合併から10年を経過しても、未だに根深い地域感情が残っていることを実感しています。

3町村の合併は、地方自治法の本旨である効率的な行政運営のため、「人・モノ・金」を集約してこそ、住民のための政策財源が捻出できるということです。まさに「あれもこれも」から「あれかこれか」という政策の選択と集中が本市の将来を左右するからです。

統合庁舎の議論では「角館への一極集中だ」「ほかの地域が取り残されてしまう」という危機感や感情論が先行し、俯瞰的な「将来の負担を軽減するための議論」には程遠いものでした。

しかし、仙北市の議員ならば、時には感情論を越えた「未来の全市民」のための英断も必要です。そのためには、本市が抱える課題・現状を正しく認識する力量も問われているのです。

行政の主体は、あくまでも住民です。役所は、住民の下にいて、住民の幸せのために頑張る組織であるはずですが、市役所がどこにあるうとも、むしろ「役所側から住民側へ出向く」という従来意識の転換も大切なことなのではないでしょうか。

議会は、いかに将来の住民の負担を少なくできるのが、重要な視点のひとつとなります。

昨年の反省を踏まえて、本年は、信念を持って進みます。皆様にも、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

併せて、本年のご多幸をご祈念申し上げます。



— 12月定例会 —

第8 回定例会が11月29日～12月21日までの23日間開催され、平成28年度一般会計補正予算案等46件が審議された。

初日には庁舎建設特別委員長から庁舎整備に関する調査研究の報告、市から条例の一部改正案9件、仙北市犯罪被害者等見舞金支給条例の制定について等が提案され、その後、平成27年度一般会計歳入歳出決算認定について採決が行われ不認定となり、また、議員の期末手当の引き上げ条例の一部改正案は否決された。そして、議会最終日には、カラ吹き源泉事故に係る和解及び損害賠償について、同損害賠償金等に係わる一般会計補正予算案が上程され賛成多数で可決された。

一般会計補正額 2,819万円減額
補正後予算200億8,961万円に

可決された
主な議案・意見書
(予算関係は除く)

- 仙北市犯罪被害者等見舞金支給条例
- 仙北市議会議員及び仙北市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例
- 仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 仙北市生保内財産区会条例の一部を改正する条例
- 大曲仙北広域市町村圏組合の共同処理する事務の変更及び大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更
- 公の施設の指定管理の指定について、角館交流センター^{ほか}外12施設
- カラ吹き源泉事故に係わる和解及び損害賠償について
- 意見書の提出について(長時間労働を是正するため「労働時間の規制強化」を求める意見書^{ほか}4意見書)

議決結果/議員賛否 平成28年 第8回 仙北市議会定例会(招集日:11/29 最終日:12/21)

凡例:賛→賛成、反→反対、退→退席、欠→欠席(議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名等 件名	議決 月日	議決 結果	党及び会派に属しない議員																公明党	共産党	
				佐藤大成	高橋豪	門脇民夫	田口寿宜	大石温基	阿部則比古	黒沢龍己	小田嶋忠	荒木田俊一	安藤武	小林幸悦	伊藤邦彦	真崎寿浩	八柳良太郎	高久昭二	稲田修			熊谷一夫
議案第89号	平成27年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	11/29	不認定	反	反	反	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反
議案第107号	仙北市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11/29	否決	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	賛	反	反
議案第112号	平成28年度仙北市一般会計補正予算(第4号)	11/29	否決	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反
議案第122号	平成28年度仙北市一般会計補正予算(第5号)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第139号	公の施設の指定管理者の指定について(西木温泉ふれあいプラザクオン)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議員提出議案第8号	意見書の提出について(安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛
議員提出議案第9号	意見書の提出について(地域の实情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛
議員提出議案第14号	意見書の提出について(地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	賛	反	反

*全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載していません。

予算常任委員会

補正予算2,819万円減額を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から付託を受け12月12日に付託議案審査、16日に各分科会審査報告、同報告に対する質疑、19日に討論・採決が行われた。

■主な歳出

総合行政情報システム管理費	143万円	あきた未来づくり協働プログラム事業費	1,977万円
行政ネットワークのセキュリティ強化。		(仮称)クニマス未来館外構工事費。	
地域総合整備資金貸付金	1億6,800万円	農業基盤整備促進事業費	5,107万円
㈱町家ホテルへの整備資金貸付金。		制度改正による区画拡大、暗渠(あんきよ)排水事業費。	
障がい者支援施設改築事業費補助金	1,133万円	カラ吹き温泉事故による慰謝料	3,000万円
障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金。		カラ吹き源泉事故で亡くなった3名の遺族への慰謝料。	
道路改良事業費	940万円	ユネスコ無形文化遺産登録記念番組制作費	54万円
市道大沢田子ノ木線の部分改良工事費。		「角館祭りのやま行事」ユネスコ文化遺産登録記念番組制作費。	

議論のポイント

予算委員会質疑から

総合行政情報システム管理費について

質問 具体的な使途とコンピュータウイルス対策は万全か。
答弁 行政ネットワークのセキュリティを強化するものである。ウイルス対策ソフトを導入し、日々更新・防御しているので障害は発生していない。

未来づくり協働プログラム事業について

質問 工事請負費の使途は。
答弁 設計の違算があり、来年3月発注予定の外構工事費が不足した部分に充当するものである。

地域総合整備資金貸付金について

質問 融資条件、経営方針、駐車場はどうなっているか。
答弁 貸付対象事業総額が1千万円以上、契約後5年以内に営業開始、1人以上の雇用創出の3つが要件である。償還は貸付から15年以内。対象事業総額が3億7,900万円。来年度4月

オープン予定。新規雇用は5名。ホテル稼働率は59%を見込んでいるとの事である。駐車場は17台を予定している。食事は提供せず、町家館・飲食施設を活用する。

総合型地域スポーツクラブの減額補正について

質問 減額補正に至った要因と今後の見通しについて。
答弁 松木内てくてくクラブは補助事業の要件である有資格のクラブマネージャーを雇用する条件を満たす事が出来なかった。今後は市民が地域で身近に、手軽にスポーツできる環境を整備する目的で、自立に向けた方向性を検討していく。

福祉医療費について

質問 これまでの実績値と制度拡充の方針について。
答弁 今年度は、乳児・小学生4,200万円、1人親世帯1,080万円、高齢者身体障がい者3,640万円、重度心身高齢者1億3,550万円、市単独

分76万5千円で合計2億2,546万5千円以内と見込んでいる。対象人数は、3,945人である。
県内4自治体が18歳までの医療費助成を行っている。当市で行うとすれば約1,500万円が必要となる試算である。県の助成制度との調整を図り、今後検討してまいりたい。

反対討論

あきた未来づくりプログラム事業の予算措置が不明確、不明瞭である。放課後児童クラブ対策事業費は放課後児童クラブに通う角館小学校1年生のみにスマイルバスを利用させる予算である。しかし、2年生から6年生まではこれまで通り、冬期間積雪・凍結した狭い内川橋の歩道を渡らせることには交通事故の危険が伴う。支援員は引率しているが、事故の危険性を考えれば、今回の補正予算には反対する。

採決

賛成多数により
補正予算案は可決
された。

もっと多様な意見に
真摯に耳を傾けるべきではないか。



阿部 則比古 議員

市長

後世に評価をいただく覚悟で市政に臨んでいるつもりだ。



■外ノ山(とのやま)国有林の現在の状況

**行政に卓抜した
方々の意見に
耳を傾けるべきだ**

質問 いかにか優秀で知識が豊富

で頭の切れる首長であつても、一人で持ちうる視野の狭さ、考えの浅さを真摯に考えるべきだ。これまでの議員個々に対するス

タンスも、市長の支持者を含め、行政に卓抜した知識を持つ方々

の政治的な関与を拒絶しているようにしか見えない。

こうした方々の優れた知識や

知恵、行政に対する考え方を英知として集約し、行政に反映さ

せて行くべきと思うが、なぜそ

れを否定する独断専行型の手法をとるのか。

答弁 議員は「首長は権力をも

つて議会を掌握することは当然

ではないか」と

言われるが「ブ

レーン政治はだ

めだ」と言う認

識ではなく、皆

様から公平に意

見を聞いている

と思つている。

議会との信頼関

係において理解

を求めるのは当

然だが、圧力め

いた意味合いの

ある「掌握」と

言う言葉で議会

と接するスタン

スではない。一言で言えば政治

スタンスの違いと言うしかない。

首長と議会は二元代表制の下、

別々の人格を有するもので、ど

ちらも選挙によって選ばれる。

お互いに切磋琢磨し、より良き

道を探り出すための優れた仕組

みと思う。

念でならない。

答弁 端的に言う議員と私の

大局観の違いだ。確かに、当時

そうした提案はいただいたが政

策立案の過程としては、当局案

として議会や市民に提案出来る

ものではない。

他の議員からの提案でも、市

としての必要性は理解できても

現状では実施不可能な事案が当

然ある。

統合庁舎の問題で、確かに迷

走・混乱した事は最高責任者と

しての私の責任だが経緯として

市民からの意見・市当局の考え・

議会の考え方が錯綜して意見集

約に至らなかった。

出来る限り市民の将来負担を

軽減して、効率的な行政運営の

基盤整備をしたいとの思いで、

庁舎整備に取り組んできたつも

りだ。その時点で理解をいただ

けなくとも後年、評価いただ

ければとの覚悟で市政に臨んで

いる。

(八柳良太郎記)

**大局観が
感じられない**

質問 以前、統合庁舎・市立角

館病院・他の公的施設の建設地

として「外ノ山」^{とのやま}開発を提唱し

たが聞き入れて貰えなかった。

本市の交通の要衝、国道46号・

105号の交点であり、高台で

しかも地盤が強固である。防災

拠点、或いは旧3ヶ町村への救

急医療の公平性からも最適地で

ある。実現していたら今日の迷

走も混乱も無く、住民の地域感

情をいたすに刺激する事もな

かったと思う。

全ての公的施設を無秩序に分

散させる事になってしまつて残

放課後児童クラブに通う児童の安全確保対策を。



高久昭二 議員

市長 今後の方向性を協議していく。



■角館小学校放課後児童クラブに通う児童の集団移動



■「山鳩館」生きがい通所支援事業利用者

放課後児童クラブに通う児童の安全確保対策を

質問 角館小学校放課後児童クラブは角館児童館（旧保育園）で行われるため、児童は歩いて通っている。支援員が誘導しているが、通う距離が遠く危険箇所もあるので、安全確保のため市が全員のバス代を支給すべきでないか。

答弁 冬期間通うのに不慣れな

1年生のバス代を12月補正予算に計上した。2年生以上の児童については財政面もあり、今すぐにはと言えないが、今後の方向性を協議していく。

高齢者福祉の充実を図れ

質問 市内で一人暮らしの高齢者世帯が増加している。大仙市では試験的に遊休施設を活用して各地区に高齢者のための憩い

の場を設けている。仙北市でも認知症予防を含め高齢者の方々が集い、交流出来る高齢者憩いの家等の設置が必要でないか。

答弁 高齢者の方や子育てしている方々も利用できる小規模多機能施設の整備を検討している。高齢者の方々には現在稼働している上松木内「山鳩館」、神代「老松荘」、認知症カフェ、社会福祉協議会が運営している「ふれあいいきいきサロン」等を利用していただきたい。

司食品工業の進出 断念と工業用地の今後の活用は

質問 進出断念に係わる市の財政負担及び今後の対策は。

答弁 市は工業用地造成のため2億4194万円を支出している。司食品工業には法的な手段もありうると考えていたが、企業誘致を図るうえで係争事案を抱える土地のイメージが悪くなるとの判断で提訴を見送ることとした。

質問 工業用地の新たな企業進出の見通し及び新たな利活用はあるのか。

答弁 東京に本社を置く一部上場企業と工業用地への進出について話し合いが進んでおり、東京本社の訪問や2回の当該用地の視察を受け、今月13日に会社の代表が市を訪問する予定となっている。企業からの進出計画書の提出があり、進出が具体化するば議会や市民の皆様へ説明をする。現在における用地の利活用については、今年の田沢湖マラソンの際、駐車場として利用した。

（門脇民夫記）

仙北市としての地域融和と
一体感の醸成が必要だ。

佐藤大成 議員

市長

現在までに醸成できなかった責任は私にある。

庁舎再編を
どうするのか

質問 最近のマスコミ報道、庁舎建設関連の市当局の説明からは、仙北市における地域感情という言葉をよく聞くようになった。地域のわだかまりは、いまだ解消されず、根深いものがあるという記事も出ている。この問題を解消していくのは市政の重要な仕事である。現在までに地域融和、一体感を醸成出来なかった市長の責任はとても大きい。そう思わないか。

答弁 責任は私にあると思う。また、説明会などを実施しているが、地域融和を防いでいるのは、自分より上の世代の人達だと認識している。彼らがそのような地域感情をずっと持っている。仙北市はいつまでたっても変わらないとも感じている。**質問** 仙北市の自治体の特性を考えた場合、地域的な公共施設バランスを上手く取ることが、地域発展並びに仙北市としての一体感の醸成に大きく寄与することを確信している。具体的には、角館には病院、田沢湖に総合



■さらなる合宿誘致の強化を(角館武道館の早大合宿)



■地域の足としても期待される無人バス

無人バスの将来的な
地域走行計画は

合宿誘致の
強化に向けた状況は

体育館、西木に庁舎、神代に統合中学校という構想がふさわしいと思っている。美郷町では「合併して良かった」という住民の声を良く聞か地域バランスを考慮して町政を行った賜物だと思っ。今からでも遅くないので、地域バランスを取りながら、庁舎問題を進めていくべきでないか。

答弁 統合庁舎の建設が極めて困難な状況であるが、将来世代への負担軽減・産業の効率化等の観点から、新築する角館庁舎に機能集約する必要性を強く感じている。

質問 公道での無人バス自動走行実証実験後に「できれば東京オリンピック開催時まで、田沢湖一周の定期観光無人バスを実現したい」という市長発言は、具体的な実現計画を伴っているか。

答弁 メディアの前で、そのような発言を行った。創生特区の強みを活かし、内閣府・国土交通省と密に連携して、必ず実現させたいと考えている。

質問 以前合宿誘致の強化について一般質問したが、現在までの状況はどうか。また、カヌー合宿の誘致は進んだか。

答弁 平成28年度の目標数は達成し、補正予算対応を行っている状況である。カヌーに関しては、練習環境を整備して、呼び込みを図りたい。さらに連携協定を結んだ青山学院大学にも誘致活動を行う予定である。(田口寿宜記)

就学前教育の充実を図れ。



日本共産党 平岡 裕子 議員

教育長 所管の違いはあっても、協力をしっかりやっていく。

就学前教育の充実を目指して

質問 仙北市の教育の冊子に幼児教育の充実と教育環境の整備とあるが、具体的な施策がないのは何故か。

答弁(教育長) 所管が子育て推進課に替わり幼稚園・保育園の部分を外した。

質問 市民福祉部子育て支援課による冊子「おおきくなあれ」では就学前の子どもの教育・保育として支援内容が記載されている。0歳から就学前までの保育・教育について、発達に見通しをもって支援をしていく教育

委員会の取り組みと大きくかわると理解するが、どのようにとらえているか。

答弁(教育長) 所管は違うが協力してやっていきたい。教育委員会会だより「きたうら」で、中学校の子どもの活躍を紹介しているが、来年度は、就学前の子どもたち、大曲支援学校せんぼく校の子どもの頑張りも掲載したいと考えている。

質問 子どもの健やかな成長に、検診は欠かせない。5歳の誕生日を迎えた頃にも検診が必要と思うがどうか。

答弁 支援が必要な子どもが増えている実態があり、支援員も増えている。早い時期に対応して小学校に送り出す体制が必要と考える。

答弁(米澤市民福祉部長)

小児科の医師の確保が難しいが、前向きに検討したい。

親の教育費負担軽減を

質問 就学援助制度の支給項目で拡充できるものはあるか。また、入学準備金支給を2月から3月に支給はできないか。

答弁 PTA会費、児童生徒会費である。入学準備金支給は、できるだけ早い時期に支給できるように検討したい。

質問 食品ロスやフードバンクが話題になっているが、食べ物に限らず、教材、体育着、制服なども考えられる。市内2校で実施のようであるが、全校に浸透できないか。

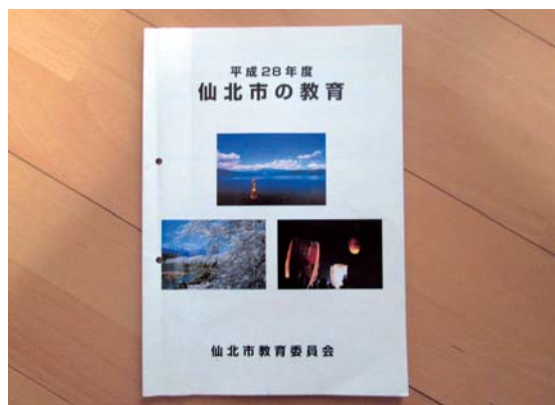
答弁(教育長) 連合PTAで取り組んでいる。市内全ての学校でできるよう働きかけていく。

医療費の無料化・予防接種事業の拡大を

質問 県の事業で中学校卒業まで医療費が無料となった。高校卒業まで拡大できないか。

答弁 高校生というとならえ方ではなく、年齢18歳と捉えたほうがいいのではないかと考えている。試算では1500万円ほど必要になる。

質問 インフルエンザ予防接種料金が就学前幼児まで助成され



■小さな市民も大事にしたい

答弁 平成29年度は小学生まで拡大を考えている。

農業が安定してこそ 展望は拓ける

質問 平成30年産米から直接支払い交付金が廃止となり、農家の不安は大きい。これまで培ってきた技術や作付けの拡大が継続できるようにする為の施策は。

答弁 ナラシ対策の継続や収入保険の創設もある。国の施策も不透明な部分が多い。情報獲得に努め、速やかにお知らせしていきたい。(伊藤邦彦記)

■健やかな育ちを願って活用を





小林幸悦 議員

「お祭り会館」建設構想を急げ。

市長

事業を進める予算を計上したい。

仙北市総合計画の見直しについて

質問 統合庁舎建設を断念した事により、総合計画の大きな見直しはあるのか。中でも、市民の大事な施設でありながら、今後も繰入金や負担金を要すると思われる次の三点について伺いたい。

- ①市立田沢湖病院の在り方
- ②院長不在の神代診療所の在り方
- ③内陸線存続の見直しは

答弁

①医療の地域格差は、あってはならない。引き続き堅持していくが、非常に厳しい経営状況である。
②今後は地方税の増加など見込めず、厳しい財政状況になるのは明らかであるが、地域の診療所として存続していく。
③現実的な対応として利用者を増やす以外存続の道はない。経営改善が見込まれない場合、代替手段が確保できるのであれば、別の対応を考えなければならぬ。



きれいで清潔な整備が望まれる公衆トイレ

観光客の受け入れ体制について

質問 伝建群の両脇にある水路に足を踏み外し、怪我をされた観光客がいる。安全対策が必要と思うがどうか。
答弁 伝建群審議会等の方々と協議して、安全と景観を備えた方法を検討していく。
質問 角館を訪れる観光客から、気軽に休める場所やトイレが少ない、また、洋式トイレ

を増やしてもらいたいとの声がある。整備の必要があると思うがどうか。

答弁 景観等も含め、関係団体と協議をしながら検討し、実現に向けた取り組みを進めていく。

質問 市に寄贈されている「岡田家」の利用状況を伺いたい。

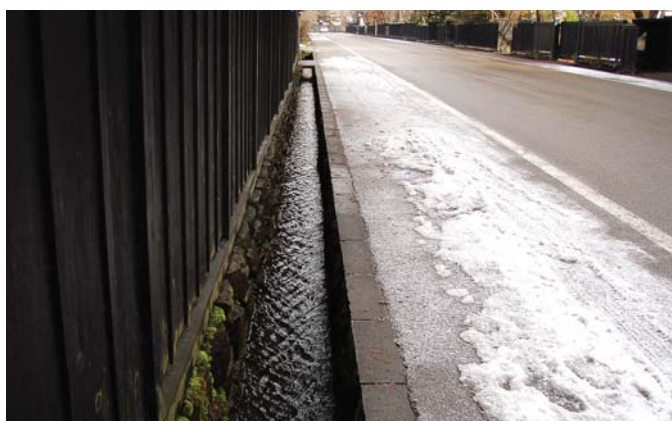
答弁 伝建群地内の修繕や庭園整備のための作業所及び道具の置き場所として利用している。また、弘道書院発掘に伴う膨大な資料の置き場所と、取りまとめを行っている。

質問 弘道書院復元に向けた計画について伺いたい。

答弁 復元検討委員会や関係団体と協議し、年次計画を立て、復元を進めていきたい。

質問 角館のお祭り行事がユネスコの無形文化遺産登録になり、国内外でも注目されることになる。「お祭り会館」建設構想を急ぐべきと考えるがどうか。

答弁 場所や施設規模等を検討し、今回の登録をチャンスととらえ、事業を進めるための関連予算を当初予算に計上したい。



安全対策が求められる伝建群水路

小規模修繕等契約の上限額見直しについて

質問 同契約の上限額は現行30万円未満となっている。上限額引き上げを望む声が多く聞こえるがどうか。
答弁 登録は2年ごとの契約であり、現在期間半ばではあるが、29年度からは上限額を50万円未満としたい。

(佐藤大成記)



高橋 豪 議員

庁舎整備今後どうするのか。

市長

統合庁舎は断念し角館庁舎を移転改築する。

市役所庁舎整備を問う

質問 9月定例会で、統合庁舎整備の関連議案が否決された。市ではその後、角館庁舎の改築案を示しているが、統合庁舎は断念したのか確認する。

答弁 今後新たな提案をすることも、合併特例債発行の期限内に整備を終えることは困難を極める。こうした理由により統合庁舎整備を断念しなければ、

次のアクションが起こせないかと判断した。

質問 市では統合庁舎整備によって財政的負担の軽減や効率化を図らなければ将来ビジョンを描けないとしてきたが、それを断念するとしても、できる限りこれまで課題とされてきた事項を克服する視点に立つべきである。角館庁舎改築の基本的考えを伺う。

答弁 こうした状況になった以上、できる限り財政負担等を考慮し、よりベターな方策として角館庁舎改築案を提示した。

質問 市では提案の一つとして、角館庁舎を改築の上、そこに現在分散している事業部門を集約するという「A案」を示した。その根拠を伺う。

答弁 財政負担を軽減し、将来の施設整備費の抑制も図っていく必要があるため、新たな角館庁舎に可能な限りの事業部門を集約することが、最も理想的であることから「A案」を提案した。

質問 一方でこれと同時に、角館庁舎は建て替えるが、これまた通リ各部署を分散配置する「B案」も示されている。その根拠は何か。

答弁 統合庁舎否決の要因は、候補地への理解、または、地域の感情的な部分で集約に至らなかったことなどと分析している。「B案」は、各庁舎にこれまでの通りの部署を配置することで、地域の方々の安心感に配慮するという案である。ただし、この場合は財政面において及ばない。

質問 リーダーシップをもってやって頂きたい。A、B両案は互いに矛盾する提案と受け止める。特にB案は、単に分庁方式での

部署の配置換えではないのか。この内容で特例債は使用可能か。また、市ではこれらをもって「総合支所方式」としているが、これで総合支所方式と呼べるのか。また、新市建設計画はどのような変更するのか。

答弁 市が言う総合支所方式は、各庁舎に配置された部門以外の事も、各窓口で可能にすることである。配置換えではなく分庁舎方式の高度化と言え。新市建設計画の変更は検討中であるが、庁舎改築に特例債が使用できる内容にする。新たな仙北市役所としての位置付けを持つこととその適用を図りたい。

質問 A、Bの2案を最終的にどのように決定するのか。

答弁 私としてはA案が良いと思っているが、議論を積み重ねて決定したい。2月定例会を目前に議会の同意を得たい。

■角館庁舎建設予定地(田町山)



総務文教常任委員会

一般会計補正予算

主な内容	クニマス未来館設計違算賠償金	2,102万円	賠償金の一部が確定したことによる補償金収入。
	総合行政情報システム管理費	143万円	システムの更新費。
	ウインタースポーツ事業費補助金	179万円	スキー教室のリフト代の補助金。
	統合型スポーツクラブ事業費補助金	△320万円	クラブ設立が困難な為、減額。

ここが知りたい 議論のポイント

平成28年度予算 主な質疑

質問 クニマス未来館設計違算賠償金の内訳は。

答弁 クニマス未来館設計委託料相当額1022万円、外構工事の一部であるパーゴラ4基設置料540万円、法面設置料540万円の2102万円である。

質問 システムの関係でサービスを受けられなくなり、切り替える為の予算との説明だったが、当初の段階では見込むことが出来なかったのか。

答弁 当時は、インターネットと事務部門を分離する想定がされていなかった。今回の分離により、国が指定するウィルス対策を行うが、現在のソフト会社では、変更に伴うサービスを受けられないので切り替えるものである。

質問 子供達には、スキーを始めとしたウインタースポーツの楽しさを知ってもらい、さらにパワーアップを図るためには、この補助金だけでは不十分ではないか。

答弁 リフト代の補助だけでは、不十分である。バス代や貸しスキー等の補助等を新たに検討している。選手育成に関して、

専門的な指導者との連携をしっかりとやっていきたい。

質問 統合型地域スポーツクラブの課題と改善策は。

答弁 クラブマネージャーを有償で雇用しなければならぬ、という条件の説明が必要だと思われるので、支援策を検討する。

質問 中川・学校支援地域本部の全国表彰へ出席する市民に対して、旅費などの補助がないことは問題である。この案件に限ったことではなく、協力を頂いている市民に対する感謝のあり方を見直すべきではないか。

答弁 市民の皆様が地域・ボランティア活動には大変感謝している。委員の指摘どおりで、反省している。旅費の補助を始めとした補助規程を創ることを早急に検討する。



■地域活動継続への支援を

条例案等の審査

仙北市犯罪被害者等見舞金支給条例制定について

質問 条例の内容と該当となる犯罪被害の内容は。

答弁 金額は、遺族見舞い金が30万円、障害見舞金が10万円となっている。遺族見舞い金は、遺族が2人いれば、2人に分けて支給する。犯罪被害の認定は、刑法が定める罪状により該当となる。

公の施設の指定管理者の指定について

質問 全ての施設の応募団体が1社である。同じ指定管理者が続くことで、サービスの低下につながる恐れもある。その原因は。

答弁 応募者は全て1社で、現在の指定管理団体である。最低限の指定管理料となっていること、施設の利用料等だけで利益を上げる、ということは、いかに民間の経営ノウハウを発揮しても、厳しいことが原因と考えられる。

質問 地元で管理している施設は、他の地域の人を使いにくいという話を聞くが、そのようなことはないか。

答弁 利用が重複する場合には、数多く使われている団体に遠慮していただくこともある。いろいろな方に利用頂き、その施設がどういうところかを見てもらえるよう、心掛けている。

一般会計補正予算

主な内容

地域密着型サービス施設等整備事業費補助金

△3,200万円

本年度開設予定だった事業所の申請取り下げによる減額。

介護施設開設準備経費等支援事業費補助金

△558万円

本年度開設予定だった事業所の申請取り下げによる減額。

放課後児童対策事業費

17万円

角館児童クラブを利用する1年生の冬期間の移動の際、スマイルバスを利用する経費。

主な質疑

質問 1年生がスマイルバスを利用するとの事だが、安全性を考慮し、児童クラブを利用する児童を同じバスでピストン運行する事は考えられないか。

答弁 冬期間は特に集団に不慣れな1年生の分を補正計上した。1年生の登録人数は33人で、1日平均利用は23人くらいとなっており、スマイルバスでも可能と考えた。今回は、八割線と下延線の定期運行便に丁度良い時間帯のバスがあり、それを利用したいと考え、ピストン運行の件は考えなかった。角館児童クラブは約80人利用しており、中でも1年生の利用が一番多い点も考慮している。

質問 子育て支援の観点から、市のバスの利用や他の運行手段等を検討するべきではないか。

答弁 市のバスを利用出来れば一番良いが、放課後児童クラブは通常日で月曜から金曜まで毎日同じ時間帯に開いているため、予約などの兼ね合いから借りるのは難しいと考える。また、80人くらいいる子ども達を一斉に移動させるとなると、大型バスを契約しなければならず、今回の補正では考えなかった。ただ、バス会社との契約は財政面もあり、今すぐとは言えないが、今後の方向として協議していきたい。

質問 バスの検討をするという事だが、1年生は初めてなのでスマイルバスで結構だと思うが、2年生から6年生の集団移動は、教育上の観点からプラスの面があると思う。その辺りを踏まえて検討していただきたい。

答弁 そういう面もあるが、経費等、詳しく調べ方向付けをしていきたい。



■角館児童クラブへ通う1年生が利用するスマイルバス

仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

市立角館総合病院が4月に開院する事に伴い、病院の位置、病床数等を改正し、開院日を4月1日とする内容の条例。

主な質疑

質問 新角館総合病院の特色、セールスポイントはどのように考えているのか。

答弁 脳神経外科が一つのセールスポイントと思っている。脳血管の専門医は全国的にも少なく空白地域も多いが、仙北市には医師がいるので、その部分での対応は優れたものがある。更に、指導医の資格が取れば県内唯一の指導医となる事から、病院の特色としてアピールする事が出来る。また、在宅医療の強化も必要になると考える。



■完成間近の新角館総合病院

産業建設常任委員会

一般会計補正予算

主な内容

担い手確保・経営強化支援事業費補助金 177万円

1法人8条田植え機械購入補助。

農業基盤整備促進事業費 5,107万円

畦畔除去や暗渠排水事業を市で行うための事業費。

農業基盤整備促進事業費補助金 △5,040円

畦畔除去や暗渠排水事業を個人で実施できたが、制度が変わって、実施体は市となるための減額。

駐車場管理運営費 41万円

旧角高グランド駐車場に、電気工事をする費用。

観光宣伝・誘客事業費 90万円

台湾からの観光客向けのパンフレット1万部増刷、台湾高雄マラソン・田沢湖マラソン提携に伴う協議のための旅費、通訳、翻訳にかかる費用。

がんばれ合宿応援事業費 60万円

1月から3月にかけて合宿が見込まれるため。

台湾修学旅行誘致促進事業費 20万円

平成26年は51人だったが28年度は100人を超える予定である。34人分の体験受講料である。

道路改良事業費 940万円

市道大沢田子ノ木線の思い出の渦分校近くの急カーブ箇所を局部的に改良する費用。

仙北市地方活力向上地域における 固定資産税の不均一課税に関する条例制定

東京23区にある企業が、仙北市に本社機能を移転する場合に、固定資産税を3年間優遇するもの。

主な質疑

- 質問** ①具体的な企業の進出見込みは。②固定資産税の減収分の対応は。③県内の他自治体との比較は。
- 答弁** ①現在、想定する企業はない。県と連携しながら進める。
②国の制度に基づく条例改正であり、全額ではないが普通交付税による補填措置が講じられることになっている。
③3年以降については、市独自の企業立地促進条例を適用することが可能で、10年間免除される。同条件を制定している市町村は県外でも多くないので優遇措置である。

公の施設の指定管理者の指定について

主な質疑

- 質問** 角館駅前の駐輪場使用料を無料としたが対応は。
- 答弁** 管理料は新年度予算に計上する。
- 質問** 花葉館の運営状況は。
- 答弁** 平成25年度は14万8千人ほどだったが27年度は6千人ぐらい減少している。花葉館では、独自にグランドゴルフ場を開設し企業努力をしており、利用者の獲得に努めている。



施設名	指定管理者	期間
田沢湖観光情報センター	(一社)田沢湖観光協会(会長 佐藤和志)	平成29年4月1日～ 平成34年3月31日
自然ふれあい温泉館	(株)アロマ田沢湖(代表取締役 倉橋典夫)	
角館駅前広場観光振興施設	(一社)角館町観光協会(代表理事 安藤大輔)	
角館西宮家	(株)西宮家(代表取締役 三浦正仁)	
交流促進センター、交流滞在施設等	(株)花葉館(代表取締役 高橋義男)	
都市農村交流施設	(株)アロマ田沢湖(代表取締役 倉橋典夫)	
田沢湖キャンプ場	(有)田沢湖自然体験センター(代表取締役 佐藤裕之)	
角館中心市街地活性化支援センター	仙北市商工会(会長 堺 研太郎)	

～ いきいき広場 ～ あきた結婚 支援センター

結婚サポーター
新山正雄
西木町西明寺字宮田9
(☎0187-47-2809)

結婚支援センター及び 結婚サポーターの活動方針

「結婚はしたいが出会いの場がない」との声を受け、結婚を希望する男女が、結婚に向け着実な一歩を踏み出せるようにと「結婚支援センター」を中心とし、地域における出会い・結婚支援のための相談や「出会いイベント」等の運営支援、出会い支援ネットワークづくりの協力や市事業への協力。

活動を始めた きっかけは何でしたか

婚活という言葉が多く聞こえるようになり、独身の男女の出会いがこんなに難しい時代になったんだな一と思ったのがきっかけです。「おせっかい」を活かし、お見合い・成婚へと、つなげることができればうれし
いな〜と思っています。

活動状況について お知らせ下さい

仙北市の結婚支援事業へのお手伝いです

が、時には親御さんからの相談もあります。自分のことをしっかり伝えることが難しく、時間がかり、確かに仲に入ってアドバイスをお願いしたいなどもありました。やっぱり第三者の視点で客観的に「魅力など」を伝えてもらいたい部分があるんだな〜と感じています。

県、市に望むこと。

・相談しやすい公民館などに、結婚の仲介人(結婚サポーター)や相談等を行う結婚サポーター推進室の設置。

・仙北市は、結婚して家族ができ、そして老後を過ごす・生涯安心して暮らせるいろいろな施策をすすめる、そのことをアピールすること。

・広報で結婚に関する現状や結婚支援についての発信・自然な形で季節ごとの体験型イベント開催を定着させること。

・地域おこし協力隊と連携した男性女性の婚活講座や、協力者向け婚活講演会などの開催。



■出会いイベントでのサポート活動

- 秋田結婚支援センター
秋田市中通6丁目7-36 ☎018(874)9471
- 南センター
横手市四日町6-8 ☎0182(38)8801

控室

市議会だよりは教科書

市 議会だよりの作成に携わって2年半になるが、いつも四苦八苦している。作成には他自治体の優れた議会だよりも参考にしている。限られたスペースの中で、わかりやすく充実した内容の市議会だよりをお届けできるよう、今後も努力したい。

今回の原稿を執筆するにあたり、議員になる前、市議会だよりは、自分にとってどんな存在であったのかを思い返してみた。高校生の時は、興味のあるページだけを読んで、家族と議論していた。大学の政治学科在学中は、講義内容と仙北市の予算を比較して自分で検討したりしていた。選挙に出ると決めたからは、食い入るように市議会だよりを熟読した。自分にとって、議会だよりは、その市の政治や議会を知る最も充実した広報誌であった。自分がそうであったように、政治に関心のある若い人にとって、政治や議会を学ぶ教科書となるように、市議会だよりを今後も作成していきたい。

(佐藤大成記)

人事案件

教育委員

安部 哲男氏(75歳)再任

生保内字武蔵野105の737

人権擁護委員

伊藤 和子氏(67歳)再任

松木内字相内13

編集後記

昨年、一般廃棄物最終処分場の機器整備、納入の随意契約を巡り納入業者から担当職員が贈収賄を受け、不適切な予算執行をしていた事が判明していた。平成二七年度一般会計決算認定についての議案が12月定例議会初日に提出され、反対多数により不認定とされた。この事案について議会は、昨年調査特別委員会を設置し原因を究明するとともに再発防止策を市に提言した。市は職員の綱紀粛正を図るとともに随意契約適正化に係わるガイドラインを作成し再発防止に努めているが、議会は契約を始め、予算及び行政執行について適切な執行が行われるよう、より一層踏み込んだ監視機能を強めていきます。また、県人事委員会の勧告に準じ議員の期末手当を0.05%引き上げる条例の改正案が上程され、新市建設計画で統合庁舎建設を議会が承認していたが、統合庁舎建設を実現できなかったとして期末手当引き上げの補正予算案を全会一致で否決した。今後とも市民目線で議会活動を推進してまいります。

(門脇民夫記)